

令和6年度 看護職の働き方改革推進フォーラム アンケート結果

開催日時：令和6年11月25日（月）13時00分～16時00分

開催場所：県民福祉プラザ4階 大・中研修室

- 事例発表：① 青森県立中央病院 今めぐみ
 ② 八戸平和病院 古川 美輪子
 ③ 青森市民病院 白塚 晶子
 ④ 健生クリニック 佐藤 綾子
 ⑤ 公立七戸病院 久保田 由美子
 ⑥ 特別養護老人ホーム三思園 高橋 進一
 ⑦ あおかい訪問看護青森東 藤田 翔

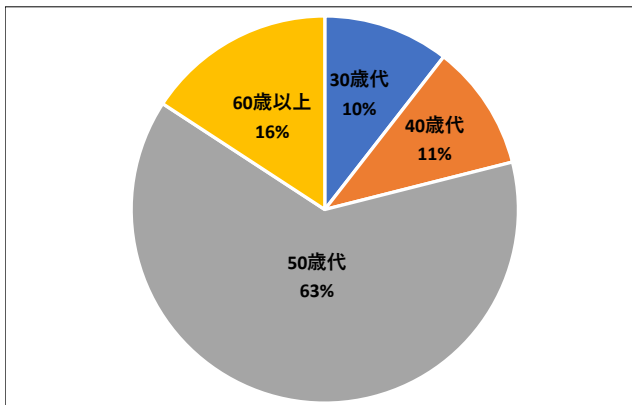
講師：公益社団法人日本看護協会 労働政策部 看護労働課長 土屋 あゆみ

参加者数：27人

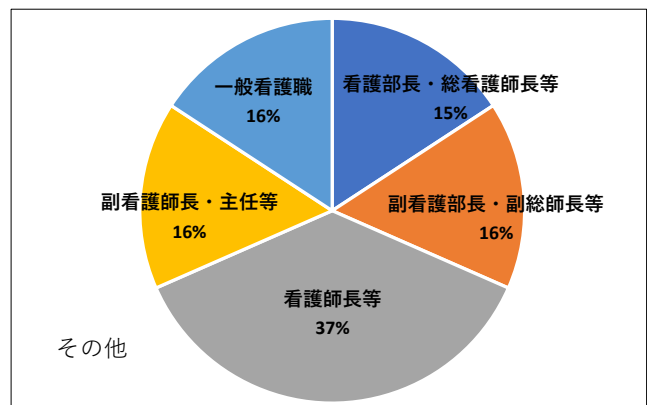
アンケート回答：19人

回答率：70%

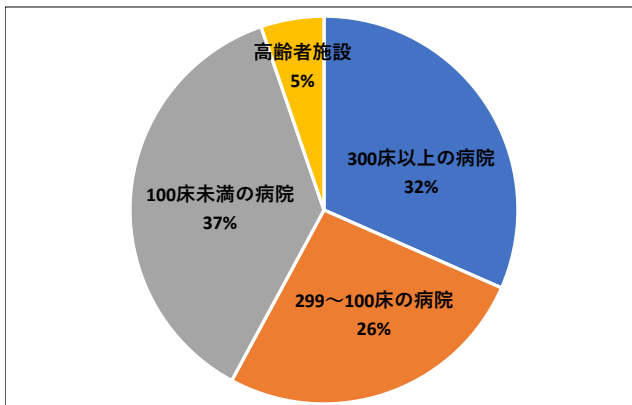
1 年代



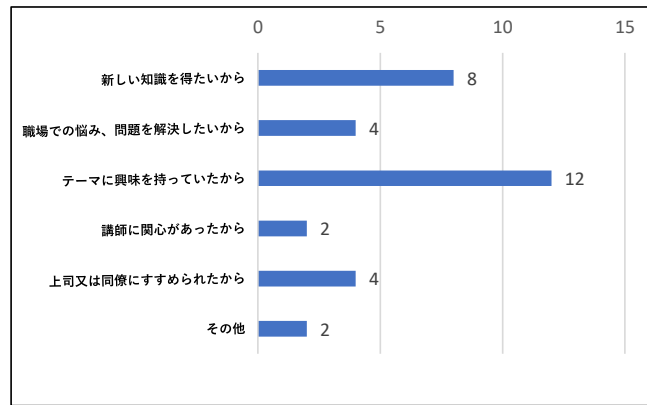
2 職位・職種



3 勤務施設

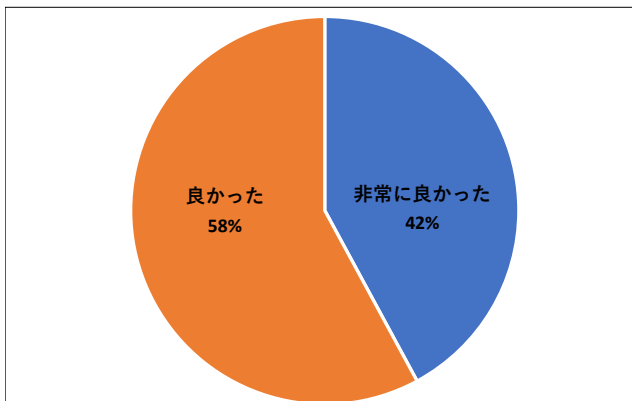


4 参加動機（複数回答）



その他・・・他施設の取組を知りたい、発表者が同僚

5 内容について



6 ご意見・ご感想

- 介護医療院勤務で看護師准看護師介護福祉士介護士の職種で入所者のケアを行っている。業務の効率化を考えた時、看護アワードで紹介されている病院は規模等違い、参考部分が多くはない。今現在、棟ごとの看護介護それぞれのアンケートを集計し手探りで効率化を考えていこうという段階である。どちらかというと看護師職能II施設系が対象の効率化等の研修会を行い質疑応答や意見交換、また、事前に関心したこと等募り当日に助言頂くなどはどうだろうか。今回も参加者がそうそうたる方々が多い印象でレベルが違う。質問内容は理解できた。検討をお願いします。
- 様々な医療現場の発展を目の当たりにした内容ばかりで非常に興味深いお話ばかりでした。
- 55才～給料が上がらなくなるが、定年の年齢がのびている、61才から基本給が3割減取となる。年齢に関係なく上げてほしいです。
- 研修を準備された方々、発表して頂いた方々に感謝申し上げます。利用者様、看護職両方の未来が前向きになる様な研修でした。参加させて頂きありがとうございました。

